

コイガヤAI勉強会

仕組み・運営方針

Oita AI Cafe



おおいたAIテクノロジーセンター事務局

目次



01 **Oita AI Cafeとは**

02 **内容設計**

03 **当日の流れとフォローアップ**

04 **お問い合わせ先**

運営メンバー

おおいたAIテクノロジーセンター事務局



坂口 萌々子



三重野 正己

ISIT



上村 幸大

Oita AI Cafeとは

AIから生まれる 無限の可能性

大分県内でのAIの普及・活用をさらに促進し、
より多くの方にAIを学び、触れていただきたいという
思いから、研修よりも気軽に参加しやすいAI勉強会
『Oita AI Cafe』を企画！



目的



コミュニティの成長と新たな コラボレーションの促進

企業と学生、地域の人々が交流し、知識や経験を共有することで、AIセンターのさらなる発展と異業種間のコラボを促進する。



AI学習の敷居を下げる

研修よりも気軽に参加できる勉強会にすることで、AI学習のハードルを下げる。



次世代のAI人材育成

若い世代や学生がAI技術に触れる機会を増やし、将来的にAI分野で活躍できる人材を育成すること。

概要

★ 開催日時

実施：隔週 or 月 1 **（実験的にまずは月 1、1 時間半で開催）**

時間：1 時間半～2 時間（学生向け：16:00-17:30、社会人向け：18:00-19:00で検討中）

★ 開催場所

IVY大分高度コンピュータ専門学校 1F

参加対象・条件

※必須：パソコンの操作ができる

※必須：生成AIを一度でも使ったことがある

01

学生

AIに興味・関心がある、AIの勉強をしたい、仲間を作りたい、企業と繋がりたい等

02

企業・社会人

AIに興味・関心がある、AIの勉強をしたい、AI利活用検討、異業種・学生と繋がりたい

03

地域の方

AIに興味・関心がある、AIの勉強をしたい、仲間を作りたい等

04

サポーター・メンター

AI寺子屋の運営やアイデアの実現の際に、サポートとして学生やベンダー企業にご協力いただく。

ゴール

★ 中期ゴール

半年～1年程度の期間の中で様々なテーマでOita AI Cafeを実施して、持続可能な仕組みを作る。新しいメンバーを迎え入れ、既存のメンバーが長く参加し続けられる環境を提供

★ 最終ゴール

Oita AI Cafeでできた横の繋がり、縦の繋がりから、AIビジネス・プロジェクトが生まれていくこと。

内容設計

01

学生向け

教育現場（授業や課題）での生成AIの活用の仕方について考えたり、様々なAIツールを試したりする。（音楽・映像・画像）

02

社会人向け

生成AIの業務での活用や新たなビジネスを検討していく。
→事例を基にしながら実施。

03

共通

生成AIやノーコードツールでHPやポスター・資料の作成、アプリを作成等をする。

04

全体

コミュニティ全体の絆を深めるために、定期的に交流会を実施する。（飲み会等）

内容設計～学生～

✓ 生成AIツールを試してみよう（音楽生成、画像生成、映像生成）

✓ 教育現場（学校生活・講義）での生成AI利活用を考えよう

✓ 課題研究&卒業研究相談会！（内容次第では企業の方も参加）

✓ AIを利活用したビジネスアイデアを考えよう



内容設計～企業・社会人～

✓ 生成AIを活用した業務改善

✓ 生成AIを活用した新ビジネスの検討

✓ 従来のAIを活用した新ビジネスの検討（画像や音声系）



内容設計～共通～

✓ 生成AIを活用した企画タイトル・テーマソング作成（ポスター）（済）

✓ 生成AIを活用したHP作成とメルマガ・SNS広告文作成

✓ ノーコードツールを活用したアプリ作成

✓ デジタルヒューマンを作ってみよう

✓ Jetsonを動かしてみる

✓

内容設計～ゴールまでのイメージ例①～

1 教育現場の生成AI活用事例紹介

2 事例を基にいくつか活用方法を試してみる：活用イメージを持つ

3 それぞれの目的・活用したい場面を整理

4 どのような活用の仕方があるのか検討

5 実際に試してみる

6 結果を共有

内容設計～ゴールまでのイメージ例②～

- 1 生成AIの業務活用事例を紹介
- 2 自分の目的に近い事例のいくつかを試す
- 3 それぞれの目的・活用したい場面を整理
- 4 どのような活用の仕方があるのか検討・試す
- 5 グループで共有し、その他の方法も試す
- 6 特化したGPTを作成してみる

当日の流れ

① オープニング:ゴールの共有

② セッション・グループ活動

異業種や企業×学生チーム等、その時のテーマに応じてチームを組み、グループワークを行う。

③ 参加者の交流の場

当日参加された方の横のつながりを作るため、名刺交換等の時間をとる。
また、スラック等のオンラインコミュニティの案内を行う。

④ 成果発表

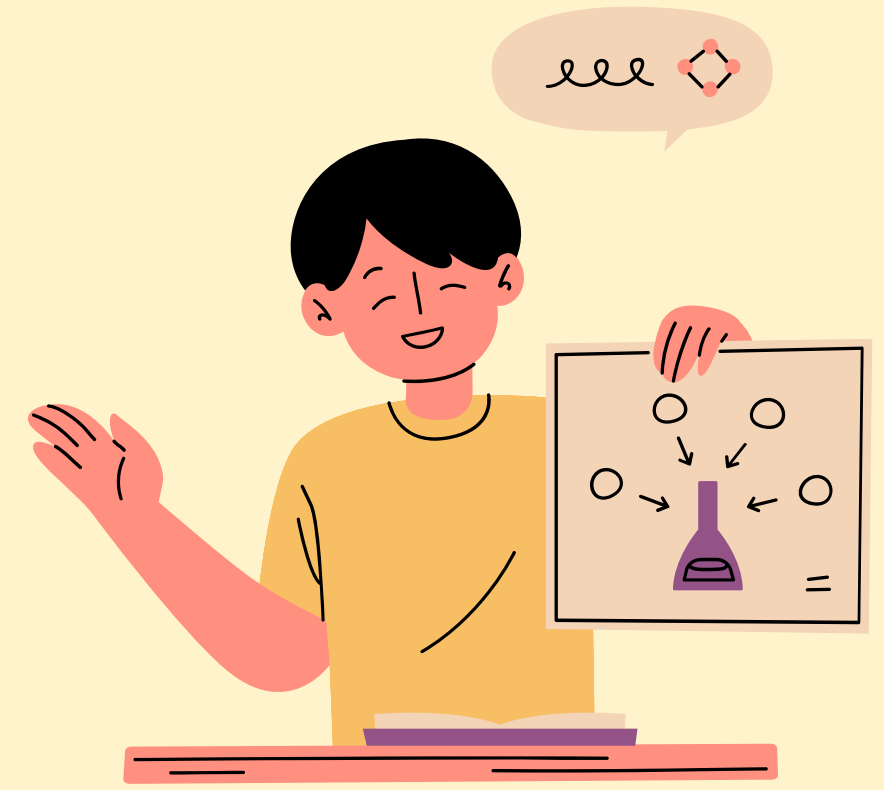
アイデアや成果物を共有する。

事務局によるフォローアップ



オンラインコミュニティ運営 (Slack運用)

オンラインツールを活用した
継続的な交流を支援していく。



成果物の公開 (AIセンターWebページ)

おおいたAI寺子屋の活動のなかで
生まれた成果物を今後の活動へと
つなげていくために公開する。

問い合わせ先

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
おおいたAIテクノロジーセンター 事務局
担当：坂口・三重野



ご相談
参加申し込み



<https://aitec.oita.jp/2024/1603/>



oita-ai@hyper.or.jp

